



5 与住税第 号
令和 5 年 1 0 月 2 7 日

与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会委員長 様

与謝野町長 山 添 藤 真

多様性を尊重し合う共生社会づくりの推進について（諮問）

上記のことについて、次のとおり諮問しますので、次のとおり諮問いたします。

1. 諮問事項

- （1）多様性を尊重し合う共生社会づくりを推進するための基本的な考え方について
- （2）多様性を尊重し合う共生社会づくりを推進するための取組みについて

2. 諮問理由

本町では、令和 5 年に「第 2 次与謝野町総合計画後期基本計画（令和 5 年度～令和 8 年度）」を策定し、「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」を目指す将来像に掲げ、「みんな」「みらい」「みえる」をまちづくりの基本理念として取り組んでいます。そのまちづくりの基本施策の一つに「一人ひとりを大切にする環境づくり」や「生涯学習社会の実現と人権教育の推進」を掲げており、人権と多様な個性の尊重、あらゆる人権問題の解決に向けた学習機会の充実等に取り組んでいます。

人権問題につきましては、平成 29 年 4 月に「第 2 次与謝野町人権教育・啓発推進計画（平成 29 年度～令和 8 年度）」を策定し、「一人ひとりの生命と尊厳が守られ、個人として等しく尊重されること」「一人ひとりが能力を発揮し、幸福を追求できること」「一人ひとりの個性の違いや多様性を認め、お互いを尊重し、つながり支え合うこと」を目標にしてきた中、性的マイノリティーに対する理解を広めるための「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（通称：LGBT 理解増進法）」が令和 5 年 6 月 16 日に国会で成立し、国を挙げてこの問題に取り組むこととなったところです。

これらのことを踏まえ、本町では、年齢や性別等の違い又は国籍の異なる文化的な違い、障害の有無などの個性や特性の違いにより、暴力や不当な差別的取扱い、誹謗中傷を受けることなく、誰もが対等な立場であらゆる分野に参画し、いきいきと自分らしく互いに支え合い、その力をいかに発揮することができる社会づくりを推進するための基本的な考え方や取組みについて、委員会として幅広いご意見と多角的な視点からご検討をいただきたく、諮問いたします。

3. 答申希望時期

令和7年3月